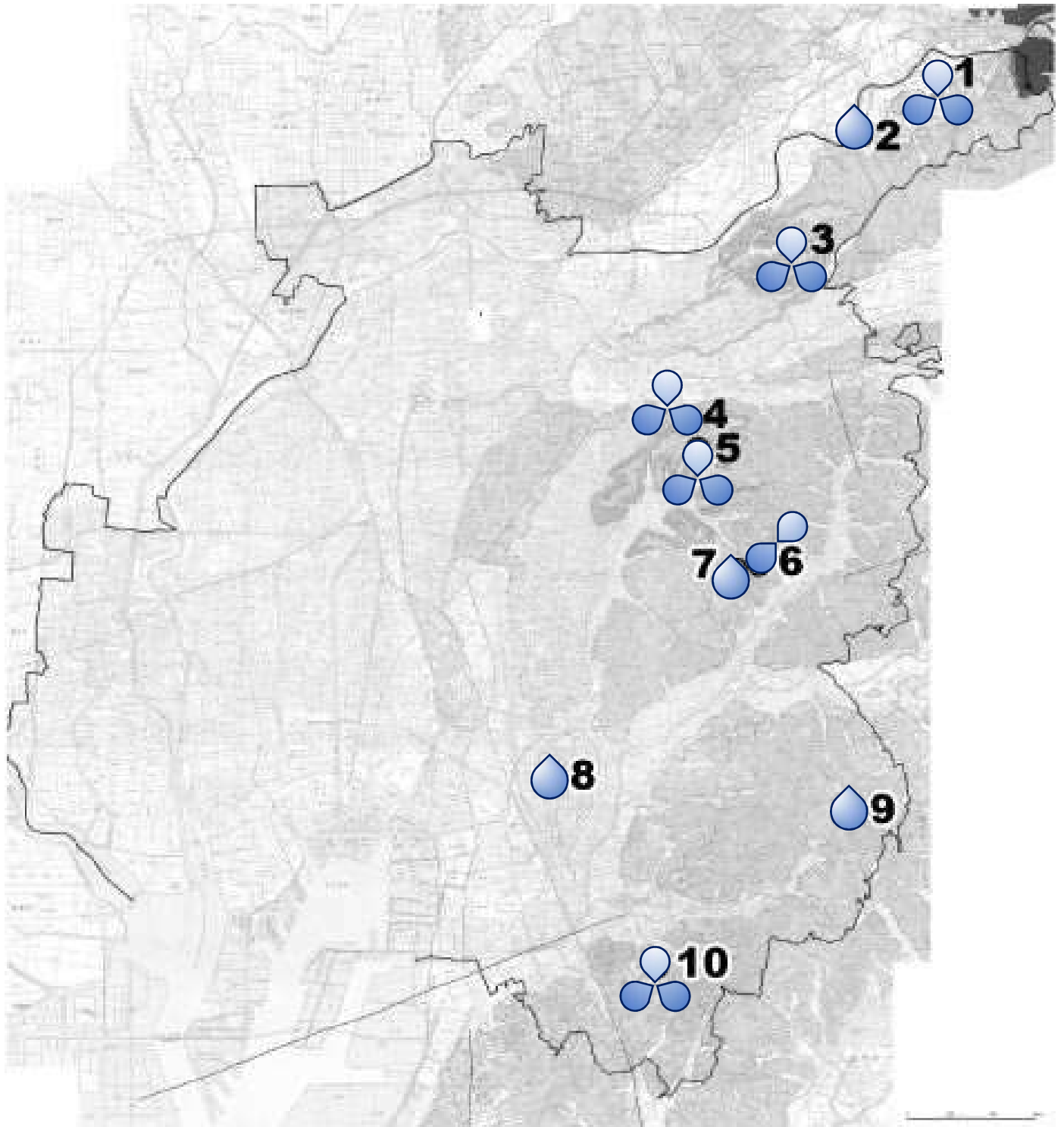


令和3年度冬季結果まとめ

No.	地点名	調査日	調査時刻	気温 (℃)	天気			水量			水温 (℃)	pH	COD (mg/L)	硝酸態窒素 (mg/L)	鉄 (mg/L)	マンガン (mg/L)
					当日	前日	前々日		計量できる場合 (mL/min)							
1	中志段味	1月15日	9:30	4.5	晴	晴	雪	1	多量	－	14.0	5.5	0	1	0.2以下	0.5以下
2	吉根	1月23日	10:28	3.0	曇	晴	晴	3	しみ出し 程度	360	13.8	6.0	4	0.2以下	0.2以下	0.5以下
3	小幡緑地	2月12日	10:30	4.0	快晴	快晴	雨一時雪 のち時々 曇	1	多量	3,000	1.8	6.0	0	0.2以下	0.2以下	0.5以下
4	茶屋が坂	12月4日	12:15	9.5	曇	晴	晴	1	多量	6,300	15.0	6.5	0	2	5	0.5以下
5	本山	2月20日	10:50	12.0	曇	曇一時雨	曇	1	多量	4,950	12.0	5.5	0	2	0.2	0.5
6	東山	1月26日	10:30	7.8	晴	曇	曇のち晴	2	小流れ	400	10.3	6.0	0	0.2以下	0.2以下	0.5以下
7	八事裏山	12月26日	11:07	6.0	曇	曇のち晴	晴	3	しみ出し 程度	－	6.0	6.0	4	0.2以下	0.2以下	0.5以下
8	呼続	3月6日	10:30	6.0	晴	晴	晴	3	しみ出し 程度	－	7.0	6.5	2	0.5	0.2	0.5
9	神の倉	2月13日	9:00	5.7	曇	晴	晴	3	しみ出し 程度	－	6.8	6.0	0	0.2以下	0.2	0.5以下
10	大高	2月17日	8:45	3.0	晴のち曇	晴のち曇	晴のち曇	1	多量	5,000	1.9	5.5	2	0.5	0.2以下	0.5

No.	地点名	コメント
1	中志段味	・カワモズクが見られない。 ・ヒヨドリの声
2	吉根	・気温が3℃と低いのに対して13.8℃と10℃近く差があって暖かく感じる。 ・藻の細かいのが、湧出箇所に残っている。水量がごくわずかであるため、除けない。 ・冬になり、草の繁茂が無くなり、公園の北東側の斜面からもわずかに湧水が浸み出ているのが確認できた。 ・公園内の樹木には、鳥の巣が確認できた。
3	小幡緑地	水温がかなり冷たく、やや酸性でした。一昨日の雪の影響はあまりなかったようで、水量は普通でした。 吐出口はきれいに掃除されている印象でした。 集水口は落ち葉に埋もれていて、何も見えませんでした。 もう少し上流では、シロハラが水を飲みに来ていました。
4	茶屋が坂	—
5	本山	・前回調査時よりコケが生い茂っていた。 ・調査の前日に一時雨が降った影響か、昨年同時期の調査より水量が多かった。
6	東山	—
7	八事裏山	気温が低いいためか湧水地付近の地面は前回より湿っていた。全体的に落葉が多かった。湧水地点からの流れは秋期よりさらに弱くなり、止水域と同様だった。また、水は透明だった。観察できたのは落葉樹、常緑樹、キノコだ。常緑樹の葉が茂っており日光の当たりが弱かった。
8	呼続	—
9	神の倉	＜湧水量について＞ 湧水量は2か所からおおよそ2-3秒に1滴で先回の計測時より減少し、以前の状態に戻ったようだ。堰からの水のオーバーフローは今回もなく、前回から水位の変化は見られない。 湧水量の変化に関わらず何故水位が変わらないのか理由は分からない。 堰左端からは前回と同様に水の流れ出る音が聞こえており絶え間なく流出が続いている。 滲みだすというより石と石の隙間から流れ出ているような感じだが、どのようになっているのかは不明である。印象でしかないが、水が堰の上面から溢れ出ていた時よりかなり流出量が多いように感じる。 御手洗場の下部は約30mにわたって水の流れはないものの所どころ水がにじみ出ている。以前より沢筋が明瞭になったように感じる。 ＜水温について＞ 今年の冬は低温が続いており水温と外気温共にこれまでで最低値を示した。また、初めて水温が外気温を上回った。
10	大高	・湧き水集水溝ですが、花木園と同レベルの高さですが水量は年中有ります。 ・最高部はアスファルトで整備された駐車場で7m？位の地形です。



 : 多量

 : 小流れ

 : しみ出し程度

 : なし